



平成 26 年 5 月 9 日

各 位

会 社 名 株 式 会 社 昭 和 真 空
 代表者の役職名 代表取締役社長 小俣 邦正
 コード番号 6 3 8 4
 問い合わせ先 取締役管理本部長 田中 彰一
 電 話 番 号 042-764-0385

平成 26 年 3 月期通期業績予想数値と実績値の差異に関するお知らせ

平成25年11月13日に公表しました平成26年3月期の通期業績予想に関して差異が生じたので下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想数値との差異について

平成26年3月期通期連結業績予想数値との差異（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	6,000	△454	△419	△514	△83.53
今回修正予想 (B)	4,868	△541	△447	△524	△85.09
増減額 (B-A)	△1,131	△86	△27	△9	—
増減率 (%)	△18.9	—	—	—	—
(ご参考) 前期実績	7,521	10	47	69	11.22

平成26年3月期通期個別業績予想数値との差異（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	5,800	△389	△551	△89.62
今回修正予想 (B)	4,731	△463	△511	△83.12
増減額 (B-A)	△1,068	△73	40	—
増減率 (%)	△18.4	—	—	—
(ご参考) 前期実績	7,611	113	135	21.92

差異の理由

(1) 平成26年3月期通期連結業績予想数値との差異の理由

売上高につきましては、前回発表より11億31百万円減少し、48億68百万円になりました。当期は、当社グループの主要取引先である水晶、光学、電子など各デバイスメーカーの設備投資に対する姿勢が依然として慎重に推移したことを受けて受注が苦戦し低調に推移しました。また、アジア市場を中心にスマートフォン向けの光学装置を積極的に販売した結果、大口受注もありましたが、ユーザーからの要望に応え最終製品完成までサポートをしたことなどにより納品が来期になるなど、最終的に当期売上計上金額としては下回ることになりました。

損益につきましては、グループ一丸となって取り組んでいる原価低減の推進や固定費削減策の実施により、受注した一案件ごとの利益率は受注時に比べて改善することができましたが、前述のとおり売上高の絶対量が不足し、固定費をカバーすることができず損失計上となりました。営業損失は前回予想比86百万

円増の5億41百万円、経常損失は同27百万円増の4億47百万円、当期純損失は同9百万円増の5億24百万円となりました。

(2) 平成26年3月期通期個別業績予想数値との差異の理由

売上高につきましては(1)の連結と同様の状況により、売上高は前回予想比10億68百万円減の47億31百万円となりました。損益につきましては、固定費削減策実施等により、販売費及び一般管理費が当初想定より改善されましたが、投資損失引当金繰入の計上を特別損失から営業外費用計上としたことから経常損失は前回予想比73百万円増の4億63百万円、当期純損失は同40百万円減の5億11百万円となりました。

以上